

特集1

2010年明けましておめでとうございます



## 地球のいのち、つないでいこう



### 2010年 国連国際生物多様性年

新年明けましておめでとうございます。

平素から漫湖水鳥・湿地センターに暖かいご指導ご助言を受け賜り、誠にありがとうございます。漫湖水鳥・湿地センターも、今年で7年目を迎えることができました。これもひとえに皆様のおかげだと、職員一同心より感謝申し上げます。

さて、当センターでは毎年、新年の抱負と致しまして一つの漢字を決めておりますが、今年

は国連で定められた“国際生物多様性年”となっております。それに伴い世界規模で、国民の生き物に対する感心を高め、生物多様性を社会に浸透させるための様々な取り組みが行なわれます。今年の10月には愛知県名古屋市で、国際的な大きな会議も開催されることになっております。そこで今年はその生物多様性年にかけて「多」を選ばせて頂きました。まず、今年一年のみなさまのご多幸を願い、次により多くの方がセンターを訪れて下さいますように、そして

多くの自然の恵みに感謝しつつ、おいしいものを多く頂けるように、ついでに、日本の景気が回復しみんなのお財布に多くのお金が回ってきますように、という願いが込められております。後半は若干脱線気味な気が致しますが…、兎にも角にも今年一年私たちは、多くの思いと目標をもって頑張っていく所存でございますので、何卒よろしく願い申し上げます。

2010年1月吉日

## 今年もみんなでゴミ拾い、年に一度の漫湖の大清掃。



今年で 15 回をむかえた「国場川水あしび」は、年に一度漫湖水鳥・湿地センターを会場に漫湖周辺の大掃除を行なう大イベントです。当日は天気にも恵まれ、12月とは思えないほどの暑い日差しの下、地域の学校や企業、エコクラブなど、たくさんの人たちの手で漫湖のゴミ拾いを行ないました。このイベントは清掃活動と同時に、漫湖の自然環境についてもっと関心をもってもらおうと、様々な企画が用意されています。水質調

査や、漫湖の生きものの展示。中には巨大なオオウナギやモクズガコといった、日頃なかなか見ることのできない生きものもいました。その他にもネイチャーゲームや観察会なども行なわれ、内容盛りだくさんのイベントとなりました。そして最後を締めくくるのはなんとといっても、このイベントの目玉“ジューシー”。大きな“しんめーなーびー”で炊きこまれたジューシーは毎年大人気で、これを目的に頑張っている人もいるか

も!? です。とてもにぎやかな大掃除イベント「国場川水あしび」また来年も開催されます。みなさまのご参加お待ちしております。

\*ジューシー：炊き込みご飯  
しんめーなーびー：4号鍋



### 漫湖のゴミが少なくなった!?

今年のゴミ拾いで一番驚いたのがゴミの量です。ゴミ問題は漫湖が抱える問題の一つです。それでも、今回集まったゴミの量は確実に去年よりも少なくなっていました。参加者からも「意外とゴミ少ないね。」という声が聞こえました。まだまだゴミがなくなる漫湖、それでも少しずつみんなの意識が変わってきたのかもしれない。





## 少しだけ緊張した顔に、喜びの笑み。



毎年、素晴らしい作品が集まる「漫湖作品コンクール」。応募されてきた作品を見ていると、子どもたちの着眼点のおもしろさや表現の多様さにいつも驚かされます。今年もそんなたくさんの中から、見事入賞した作品の表彰式が漫湖水鳥・湿地センターで行なわれました。

当日は、いつもより少しだけおめかしした子どもたちの、どこか緊張した表情でセンターはいっぱいになりました。それで

も一緒に来たお父さんやお母さんと、自分の作品の前で記念撮影をしたり、自慢げに自分の作品の説明をする子どもたちを見て、入賞した喜びをその様子から感じ取ることができました。表彰式本番の前には子どもたちだけを集めて、一度リハーサルを行なったのですが、それでも子どもたちの緊張は解けず、小さな声ときこちない動きのその可愛らしさに、思わず口元が緩んでしまいました。いざ、本番がはじまると今までの

緊張はどこへやら、一人一人堂々と賞状を受け取ると、満面の笑みで応えて見せます。その笑顔のなんと誇らしげなこと、きっと子どもたちにとって一生の宝物になることでしょう。

この作品コンクールは、毎年夏休みに入る前から応募を呼びかけ、約2ヶ月募集を行ないません。今まで応募したことのない方、また、今回は入賞できなかったけど、また来年挑戦したいという方、どしどしご応募お待ちしております。

## 受賞作品の展示を行ないました。

2009年12月13日(日)～2010年1月15日(金)まで、作品コンクール受賞作品をセンター1Fのフロアで展示しました。【絵画部門】【作文部門】ともに、最優秀賞・優秀賞・佳作までを展示し、期間中は一般来館者の目を楽しませていました。



👑 1,2年の部  
優秀賞

👑 3,4年の部  
優秀賞

**受賞作品が、  
決定しました。**

今回は受賞者の数が多かったので、入賞者一覧には【絵画部門】【作文部門】ともに、優秀賞までの氏名を掲載させていただきます。佳作・入選につきましては、受賞者人数のみ掲載させていただきます。



「楽しかったまんご探検」  
玉那覇 光 とよみ小学校2年



「セイタカシギ」  
徳永 沙耶 松島小学校4年

**【絵画部門】**

👑 優秀賞

部門	氏名	作品タイトル	学校・学年
小学校 1,2年の部	仲本あみ	カニとあそんだよ	具志頭小学校1年
	新村しおん	ぼうえんきょうでとりやかにを見たところ	長嶺小学校2年
小学校 3,4年の部	山城理朝	自然がいっぱいの漫湖	とよみ小学校3年
	屋比久夏姫	クロツラヘラサギ	とよみ小学校4年
	小山明莉	にぎやかな漫湖	とよみ小学校4年
小学校 5,6年の部	大城亜怜	まん湖の風景	糸満小学校5年
	與世田兼脩	マングローブの家	松島小学校6年
	上原菜奈	大空へ！クロツラヘラサギ ～まん湖の仲間たちへ～	松島小学校6年
中学校の部	上原果梨	木道から見えるものは	鏡原中学校3年

佳作 … 21名 入選 … 89名



**とてもとても寒い中、珍しい鳥もやってきました。**

漫湖の渡り鳥のシーズンは、10月の初旬から12月にかけてピークをむかえます。センターでは毎年この時期に、「秋の渡り」と題して野鳥観察会を行なっています。今年は新しく木道ができたということもあって、木道を中心とした観察会を行ないました。当日は温か

い沖縄でも、冬を意識するほどの急激な冷え込みとなり、参加者のみなさんはとても寒そうに双眼鏡を覗いていました。その寒さのおかげ!?で、漫湖ではなかなか見ることのできないオカヨシガモも見ることができました。例年でも1羽程度しか見ることのできない

オカヨシガモが、この日はなんと4羽も!!肩を寄せ合い水面に浮いてる姿がとても可愛らしかったです。ちょうど全国的にも急に寒くなったこの日、あまりの寒さにきつと漫湖に逃げてきたのでしょうか。参加者にとっては、とてもとても寒いラッキーな一日となりました。

**観察会のはじまりは、植物に触れることから**

今回、講師をつとめて頂いた先生は嵩原健二先生です。現在、養護学校の教諭としてお勤めする傍ら、色々な場所で野鳥観察会を行なっています。センターでも毎年お世話になっている心強い先生です。嵩原先生は野鳥観察をする際、単に野鳥についての観察だけにとどまらず、そこにある環境すべてを素材にして観察会を進めます。特に植物についての話もおもしろく、鳥も含め自然全体を感じられる、中身の濃い観察会です。その嵩原先生の言葉で、とても印象に残った言葉がありました。

「環境について考える時、すべてのはじまりは植物に触れることから始まる。」

私達はこの言葉からいろんな事を考えさせられました。



## 漫湖の鳥かわら版 77

2009 11月 → 12月

鳥の名前	11		12		鳥の名前	11		12			
	羽数	10月比	羽数	11月比		羽数	10月比	羽数	11月比		
ゴイサギ	1	→	-	↘	タシギ	1	↗	1	→		
ダイサギ	6	↘	2	↘	キジバト	5	→	1	↘		
チュウサギ	7	↘	1	↘	リュウキュウツバメ	6	↗	2	↘		
コサギ	7	↘	1	↘	ハクセキレイ	7	↗	2	↘		
アオサギ	14	↘	15	↗	シロガシラ	38	↗	11	↘		
ミサゴ	2	↘	3	↗	ヒヨドリ	9	↗	-	↘		
オオバン	1	↗	-	↘	イソヒヨドリ	3	→	3	→		
シロチドリ	7	↗	16	↗	シロハラ	2	↗	2	→		
メダイチドリ	3	↗	1	↘	アミハラ	3	↗	8	↗		
ムナグロ	51	↗	73	↗	ウグイス	2	↗	3	↗		
ダイゼン	9	↗	8	↘	セッカ	1	↗	-	↘		
ハマシギ	12	↗	3	↘	メジロ	16	↘	-	↘		
アカアシシギ	19	↘	23	↗	ムクドリ	4	↗	-	↘		
コアオアシシギ	1	↗	2	↗	ドバト	18	↗	14	↘		
アオアシシギ	10	↘	6	↘	シマキンバラ	16	↗	-	↘		
キアシシギ	1	↘	1	→	カワセミ	4	↗	1	↘		
イソシギ	16	↘	17	↗	カイツブリ	1	↗	-	↘		
オオソリハシシギ	1	↗	-	↘	オオヨシキリ	1	↗	-	↘		
ダイシャクシギ	6	↗	6	→	スズガモ	-		1	↗		
チュウシャクシギ	11	↘	5	↘	ササゴイ	-		1	↗		
11月合計 →		個体数合計： 325 羽 種類数： 38 種				12月合計 →		個体数合計： 233 羽 種類数： 30 種			

ちょこっと  
torino 

今回のテーマは、

「あか・あお・きいろ」のつづき

先月の話の続き。アオアシシギの足の色が緑色に近いのに何故“青”と呼ばれているのか？そこには日本古来の色の捉え方に関係があるような気がする。ということで、色々と調べてみました。信号機の“青”あれもどちらかというと緑に近い色です。あと青虫や青葉などもきつと緑です。ある辞書によると、日本では昔から瑞々（みずみず）しい緑を「青々とした」などと表現していたという記述がありました。瑞々しいとは“若々しさ・

新鮮味がある”様を指すようです。なるほど、昔の人は色彩と同時に、物質の“質感”も感じとっていたのかもしれませんが。仮にその質感に“水気”を汲みとっていたとしたら、アオアシシギの青も妙に納得できるような気がしてきます。

と、今回は鳥の名前から色々と思いを巡らせてみましたが、いかがでしたでしょうか？

今回は個人的推測も含まれてはいますが、鳥の名前を通してこんな楽しみ方もイイかも!? です。

## 新春野鳥観察会

## 「ムーチービーサでちゅ〜うがなびら!!」

日 時：2010年1月23日（土） 12：30～15：00

対 象：小学1年生以上

（低学年は保護者同伴になります。）

定 員：20名

持ち物：タオル、エプロン、頭巾、帽子、防寒着、飲み物、  
筆記用具（※双眼鏡・図鑑は貸し出します。）

参加費：100円（※保険料として）

講 師：比嘉 邦昭 先生

受 付：1月13日（水）～

※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

## 『漫湖水鳥・湿地センター 湿地の日2010』

日 時：2010年2月2日（火）～2月14日（日）

場 所：漫湖水鳥・湿地センター

主 催：漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会  
（環境省、沖縄県、那覇市、豊見城市）内 容：・沖縄県内のラムサール条約湿地への理解を  
深めるためのパネル展示  
・漫湖の自然に触れる野外観察会\* 詳しい日程についてのお問い合わせは、  
漫湖水鳥・湿地センターまで

## 11月・12月のセンターの様子

## 11月の団体利用

## 学校

千草保育園	阿波連小学校
上田小学校	西崎小学校
船越小学校	古蔵小学校
高嶺小学校	牧港小学校
普天間小学校	白川小学校
南風原小学校	美里高校
豊見城小学校	木更津高校

## その他

沖縄野鳥の会	名蔵アンパルの自然を守る会
風花吟行会	那覇市子どもエコクラブ ミーティング
モニタリングサイト 1000	ウルルレンジャー
沖縄国家機関連絡会	
北九州自治会連絡会	

## 入館者状況

## 入館者数

一般入館者：	822 名	
団体利用者：	1,162 名	
今月の合計：	1,984 名	累計： 126,690 名

## 12月の団体利用

## 学校

ちびっこハウス保育園	とよみ小学校
高良小学校	糸満高校
宇江原小学校	豊見城南高校

## その他

沖縄環境クラブ	国場川水あしび
酪農学園大学	保全会議

## 入館者状況

## 入館者数

一般入館者：	935 名	
団体利用者：	785 名	
今月の合計：	1,720 名	累計： 128,410 名

## 漫湖水鳥・湿地センター

〒 901-0241

沖縄県豊見城市 字 豊見城 982

TEL 098-840-5121 FAX 098-840-5118

[http://www.geocities.jp/manko\\_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)

●開館時間：AM9:00～PM5:00 ●入館料：無料

●休館日：毎週月曜日（※祝日の場合は翌日になります。）

慰霊の日（6/23）、年末年始（12/29～1/3）

※団体利用の場合は事前にお問い合わせの上、お申込みください。

※幼児のみの入館はお断りしております。